

指定管理施設モニタリングチェックシート

(R3年度 上半期(4月～9月) 年間(4月～翌年3月) の管理運営状況)

施設名	紙漉の里ふれあい施設	指定管理者	紙漉の里振興協議会
指定期間	H30.4.1～R4.3.31	担当課	農林課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画(A)	実績(B) (モニタリング時)	対計画比較 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数(日)	256	135	52.7	
	延べ利用者数(人)	1,500	788	52.5	
	事業開催回数	必須事業(回)	200	121	60.5
		自主事業(回)	256	135	52.7
収支状況	収入	指定管理料(円)	0	0	
		利用料収入(円)	350,000	187,250	
		自主事業収入(円)	50,000	26,920	
		その他の収入(円)	209,000	208,322	
	収入計(円)		609,000	422,492	69.4
	支出	人件費(円)	0	0	0.0
		維持管理経費(円)	500,000	275,196	55.0
		自主事業関係経費(円)	0	0	0.0
		その他の支出(円)	1,000	0	0.0
	支出計(円)		501,000	275,196	54.9
収支(収入-支出)(円)		108,000	147,296	136.4	

指定管理者の自己評価(改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 閉館指示等もなく、R2と比べて夏季利用者も少し戻った。</p>	<p>【事業の実施状況について】 コロナ禍の状況を見ながら管理業務や陶芸体験など継続しているが、飲食を広く再開する目途は立っていない。</p>	<p>【収支状況について】 体験事業が少し戻ったが依然厳しい。</p>
--	---	---

所管課の評価(指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 利用者が戻ってきているのは喜ばしい事です。引き続き施設情報発信をお願いします。</p>	<p>【事業の実施状況について】 プラットフォーム事業が軌道に乗り、飲食提供も徐々に軌道に乗る事を期待します。</p>	<p>【収支状況について】 コロナ禍で大変だとは思いますが、冬季新規事業の導入や事業の創意工夫で収入が増えることを期待します。</p>
--	---	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項(数値目標)	確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
	利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	○適正・要改善	○適正・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適正津であり、市への通報体制が整っている。	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の整備業務など利用者への安全対策が講じられている。	実地	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	2人	人員配置計画、実地、出勤簿	適正・要改善
個人情報保護	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ごみの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」:その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」:その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見(改善点、その他特記事項)	感染症の影響を受けにくい分野(散歩コース整備やキャンプ事業など)の拡充や事前準備(仕込み)の必要性があり、次年度に向けての準備を始めた。また、9月からは地域おこし協力隊の導入もあり、地域の歴史や協議会の活動をPRする企画などにも取り掛かっている。
所管課による所見(指摘事項など)	コロナの影響により、引き続き運営は厳しいとは思いますが、9月からの地域おこし協力隊の導入により、運営体制や情報発信の改善で事業が活性化されることを期待します。